愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅱでは、地域におけるビジネスを通じ様々な人々と協働し、地域社会の活性化・発展に貢献できる能力を獲得することを目標とする。3年の後期の段階では前期に学習した基礎知識を応用し、次世代に向けた収益性の高いビジネスモデルの特徴を探ります。ゼミ活動としては、大学祭、調査研究など時間外の活動にも積極的に参加します。年度末のゼミ報告会に積極的に参加します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に着ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに演習の目的と内容、進め方を説明する	□
第2回	収益性の高いビジネスモデルの基礎知識（１）	収益性の高いビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第3回	収益性の高いビジネスモデルの基礎知識（２）	収益性の高いビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第4回	収益性の高いビジネスモデルの基礎知識（３）	収益性の高いビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第5回	収益性の高いビジネスのモデルを探す（１）	モデルに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第6回	収益性の高いビジネスのモデルを探す（２）	モデルに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第7回	収益性の高いビジネスのモデルを探す（３）	モデルに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第8回	プレゼンテーション中間報告会（１）	各自の成果をまとめ、中間報告を行う。	□
第9回	プレゼンテーション中間報告会（２）	各自の成果をまとめ、中間報告を行う。	□
第10回	収益性の高いビジネスモデルの特徴をまとめる（１）	モデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第11回	収益性の高いビジネスモデルの特徴をまとめる（２）	モデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第12回	収益性の高いビジネスモデルの特徴をまとめる（３）	モデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第13回	プレゼンテーション研究発表（１）	研究成果を報告し、全員で内容を検討する。	□
第14回	プレゼンテーション研究発表（２）	ゼミ交流会で研究発表をする。	□
第15回	全体総括	本演習の内容を総括する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には課題図書やゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなどの情報を主体的に読破すること（2時間程度）また授業後には、授業内容をまとめてゼミ課題に積極的に取り組むこと（2時間程度）。日ごろから主体的にビジネス関連情報を収集するように心がけることが大切です。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で取り組んだ内容また課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること、またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	ビジネスモデルの観点を学び幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	ビジネスモデルの観点から地域社会の活性化・発展に貢献する提案ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常の取組（６０％）と課題提出（４０％）を基礎に成績評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞	
2		
3		
4		
5		